

# 設計プログラム他販売製品紹介

## 設計プログラム

### 【概要】

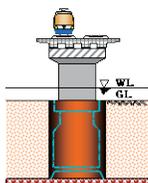
- ①（公財）鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）が所有する、**JRSNAP**を中心とする設計プログラム・パッケージの作成、販売、保守およびユーザー・サポートは、弊社(JRSE)が担当しています。
- ②現在、弊社は、設計標準・手引き・照査例のマイナーチェンジの対応、ユーザーニーズに応じたプログラム機能の改良、および自社ツールの開発を積極的に実施しています。

### 【特徴】

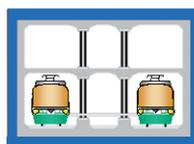
- ①各「鉄道構造物等設計標準・同解説」に準拠し、設計法との整合性が図られています。
- ②プログラムの度重なる改良を実施しており、設計現場からの様々なニーズに応えます。
- ③入力・出力の自動化処理や各プログラム間の連携により効率的な設計作業ができます。



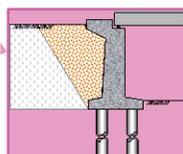
橋梁・高架橋



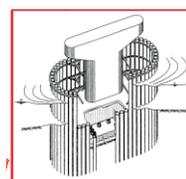
ケーソン



開削トンネル



抗土圧構造物



鋼管矢板基礎

## 総研式打音検査装置

### 【概要】

本装置は一定の打撃を発生させて、その振動音を記録・解析することにより、専門的な技術を必要とせずに「トンネル覆工コンクリート」および「岩盤斜面中の岩塊の安定を評価する装置です。

（開発：鉄道総研、製造販売：JRSE）

マイクロフォン  
等付属品 ⇒

収録・解析用  
PC ⇒



打撃装置



収録・解析部

## UドップラーⅡ

### 【概要】

鉄道総研は、橋梁等のたわみ測定、固有振動数推定に使用されているUドップラーⅠの機能を継承し、さらに使い勝手を良くした、UドップラーⅡを開発しました。弊社は、UドップラーⅡの販売・保守・サポートを担当しています。

### 【特徴】

- 数十メートルの長距離測定に対応
- 列車振動から常時微動まで測定可能
- バッテリーで約10時間駆動
- 小型軽量化、ワイドレンジ化に改良



## IMPACT IV

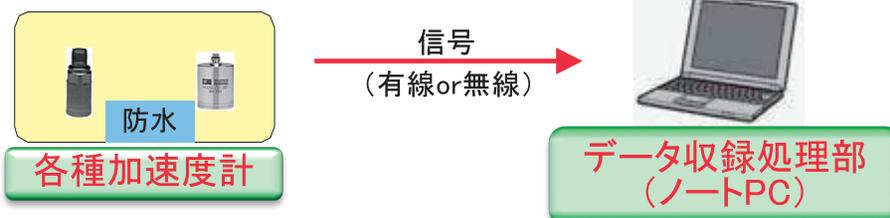
### 【概要】

鉄道総研は、橋梁下部工健全度診断システムズ「IMPACT」の機能を継承し、新たな技術を追加した、IMPACTⅣを開発しました。

IMPACTⅣは、測定対象等の違いにより最適な測定・診断ができるよう、無線型、光ファイバ型等、センサ選択が可能です。

また土留等への適用拡大のため、重錘を用いずに測定できるように開発した“小型起振機”の取付可能なタイプもあります。

弊社は、IMPACTⅣの販売・保守・サポートを担当しています。



この他、SSI工法等、主に鉄道総研で開発された各種技術を扱っています。

**JRSE**

問合せ先  
株式会社 ジェイアール総研エンジニアリング  
〒185-0034 東京都国分寺市光町2-8-38  
TEL: 042-501-2603 FAX: 042-572-5471